

# 無理が通れば



東郷 潤

悪戸ミル吉さんは、刺青太郎さんをいつも差別しています。



その悪戸さんは、間違いを指摘されると、すぐに感情的になって激しく怒ります。



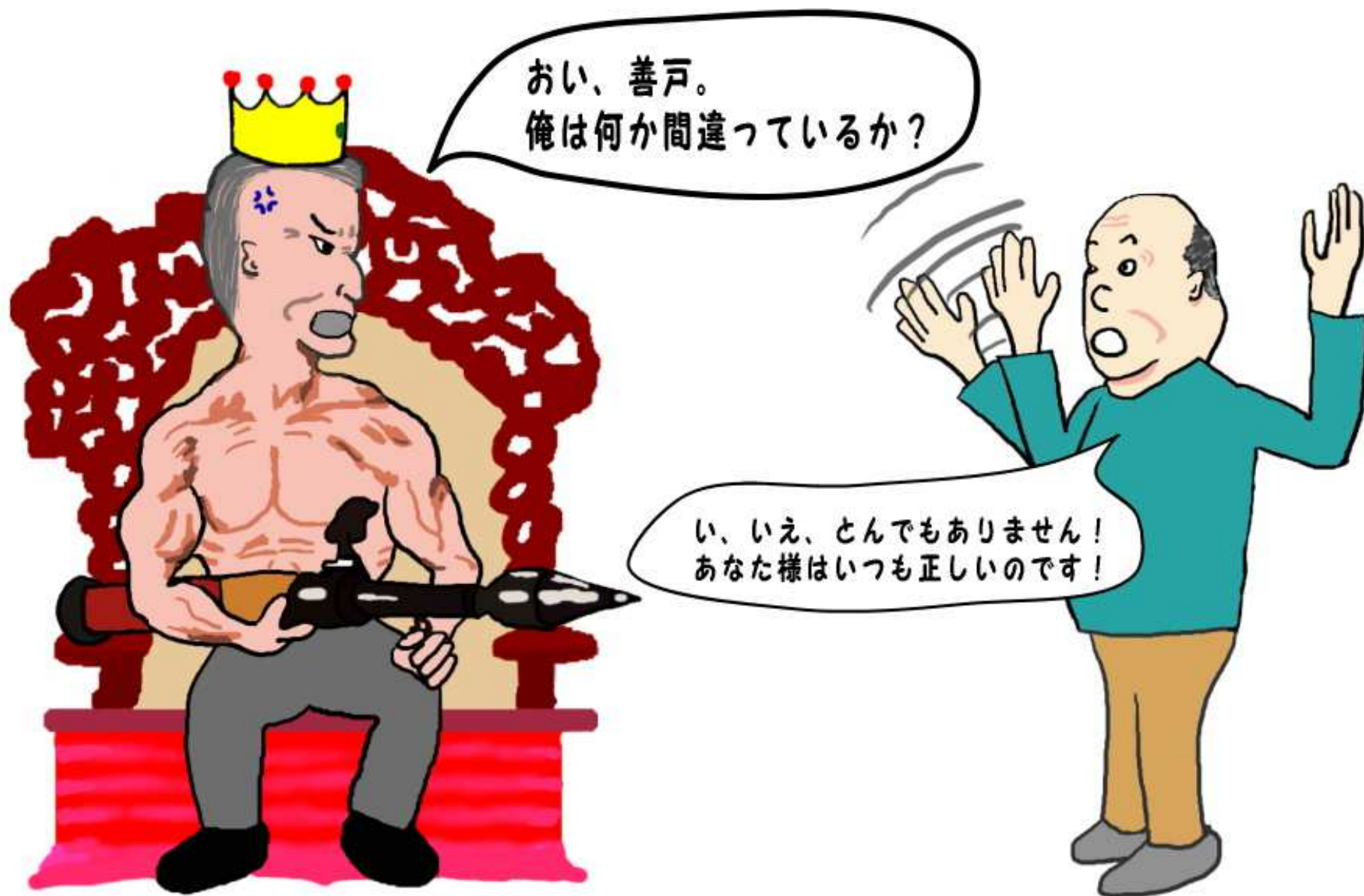
もしかすると悪戸さんは、自分が「悪」になることを、無意識に怖がっているのかもしれないね。



さてそんな怒りっぽい悪戸さんが、もし物理的にも経済的にも社会的にも、とっても強かったらどうでしょう？







おい、善戸。  
俺は何か間違っているか？

い、いえ、とんでもありません！  
あなた様はいつも正しいのです！

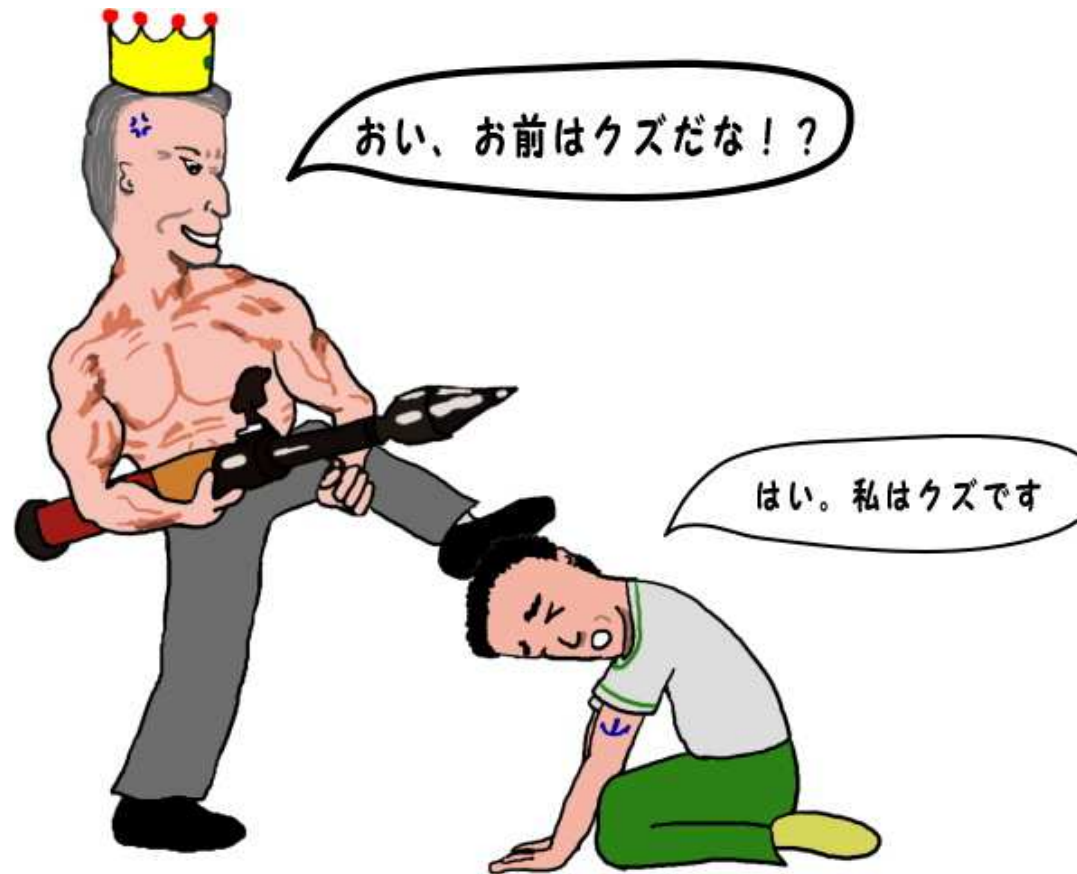


おい、刺青。お前はどうか？  
何か不満があったら言ってみろ

い、いえ、  
とんでもありません！  
あなた様に悪いところなど、  
何一つ、ありません！

強く狂暴な悪戸さんに、意見する人など一人もいません。たとえそれが一番の被害者、刺青太郎さんであつたとしても、です。

差別を我慢し放置する方が、狂暴な怒りにさらされるよりも、たいていはマシなものなのです。



こうして悪戸さんの間違いを誰ひとり指摘しなければ、悪戸さんの間違った認識／差別は固定化されてしまうかもしれません。ずっと、ずうっと・・・

負ける喧嘩をする、そんな奇妙奇天烈な人が現れでもしない限り。





## あとがき 一絵本「無理が通れば」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

**[www.j15.org](http://www.j15.org)**

©Jun Togo 2013